

2009年静岡県支部ARDF競技大会 兼
静岡県高等学校ARDF競技大会

期日：2009年9月20日(日)
会場：静岡県富士市
電話番号：055-2654-4100

丸火

Topographic map showing terrain contours and various geographical features. A red circle highlights the location of the event. The map includes a legend with symbols for roads, rivers, and other features.

2009静岡大会(144MHz)での 私の判断と行動

2009年9月20日(日)
於 静岡県丸火自然公園
安島 巧

Bottomographic map showing terrain contours and various geographical features. A red circle highlights the location of the event. The map includes a legend with symbols for roads, rivers, and other features.

縮尺 1:15,000
等高線間隔 5m

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

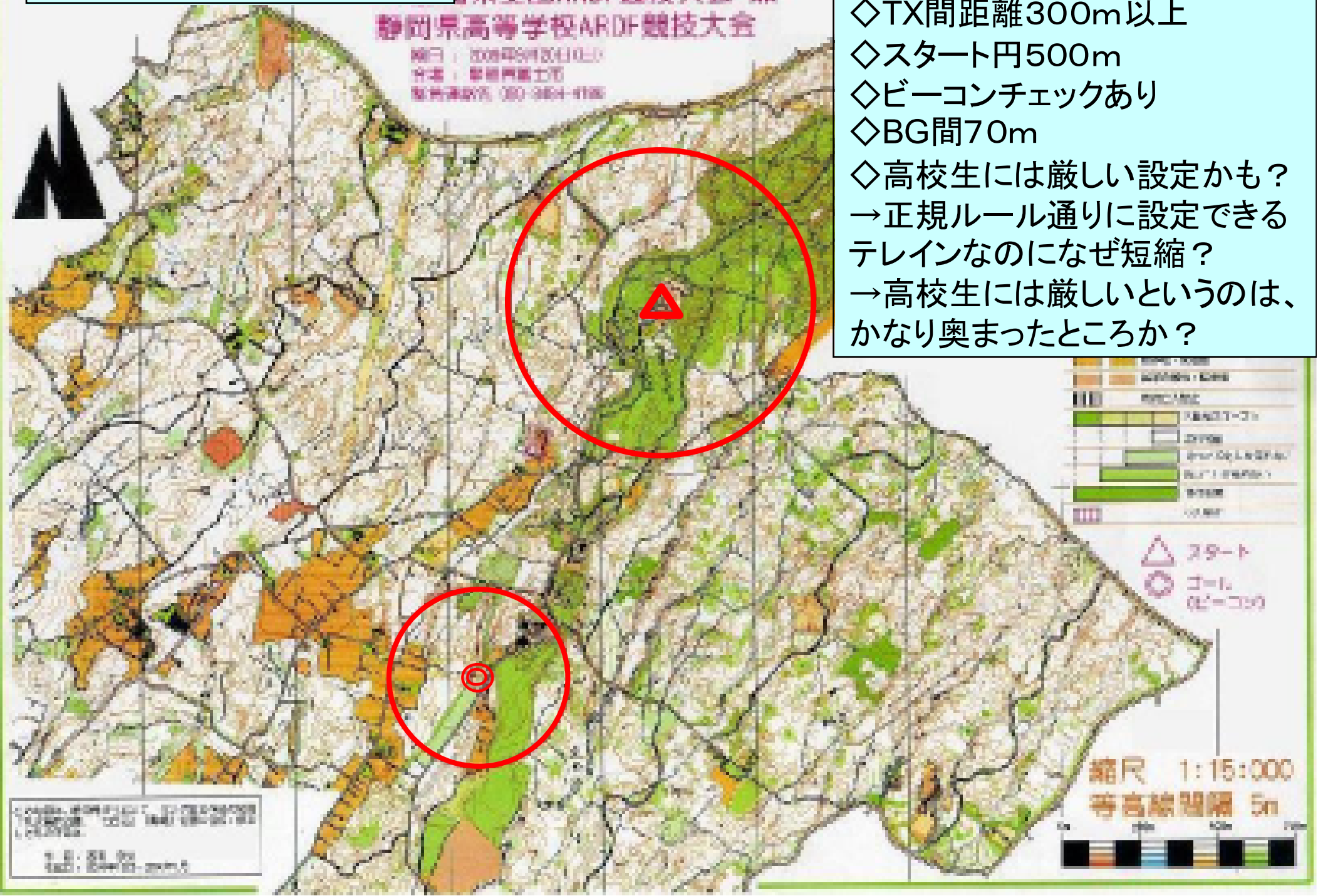
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

静岡県支部ARDF競技大会 兼
静岡県高等学校ARDF競技大会

期日：2024年9月21日(土)
会場：静岡青森公園
問い合わせ先：053-3854-4188

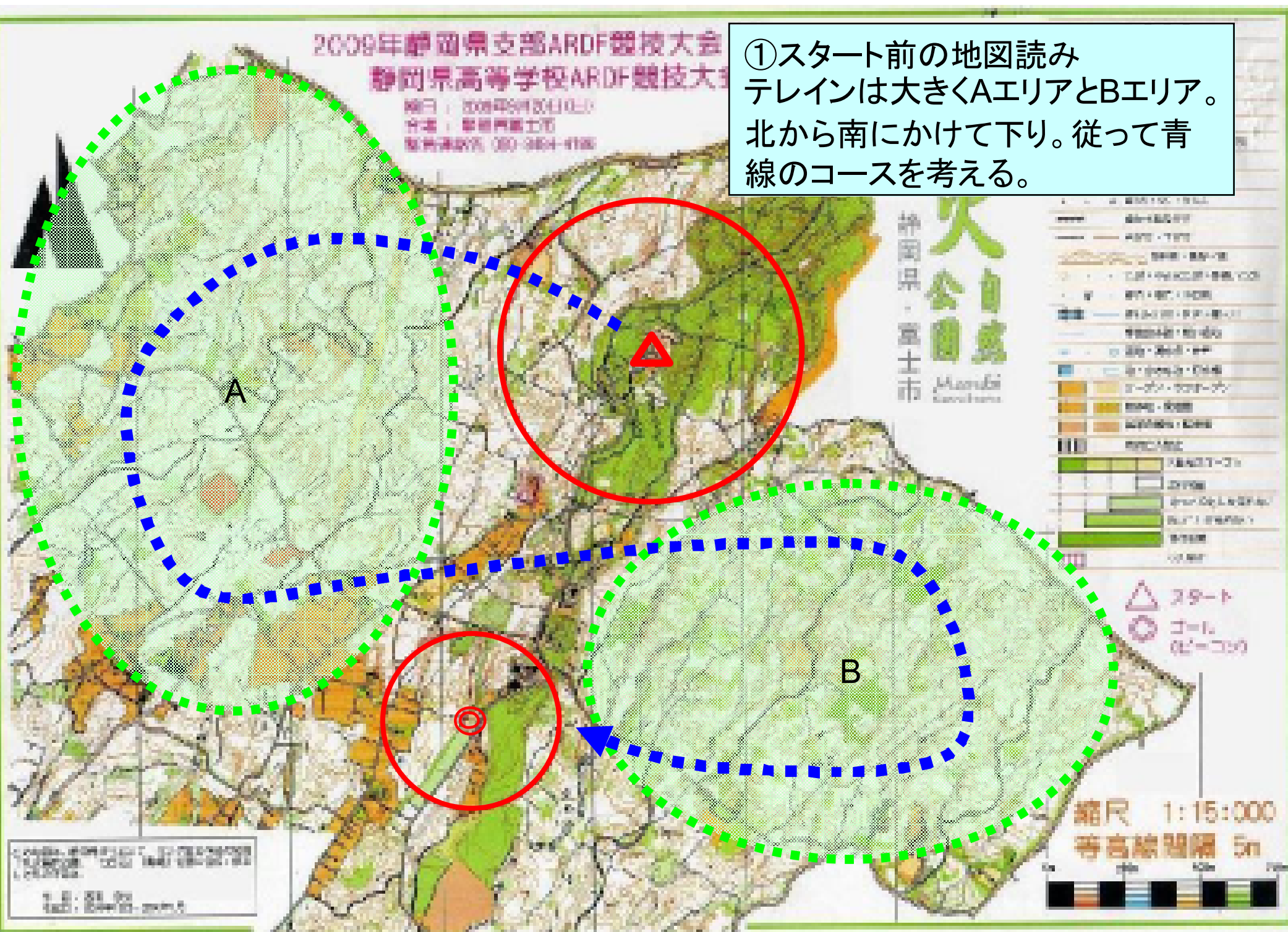
- 主催者からのスタート前情報
- ◇TX間距離300m以上
 - ◇スタート円500m
 - ◇ビーコンチェックあり
 - ◇BG間70m
 - ◇高校生には厳しい設定かも？
→正規ルール通りに設定できる
トレインなのになぜ短縮？
→高校生には厳しいというのは、
かなり奥まったところか？

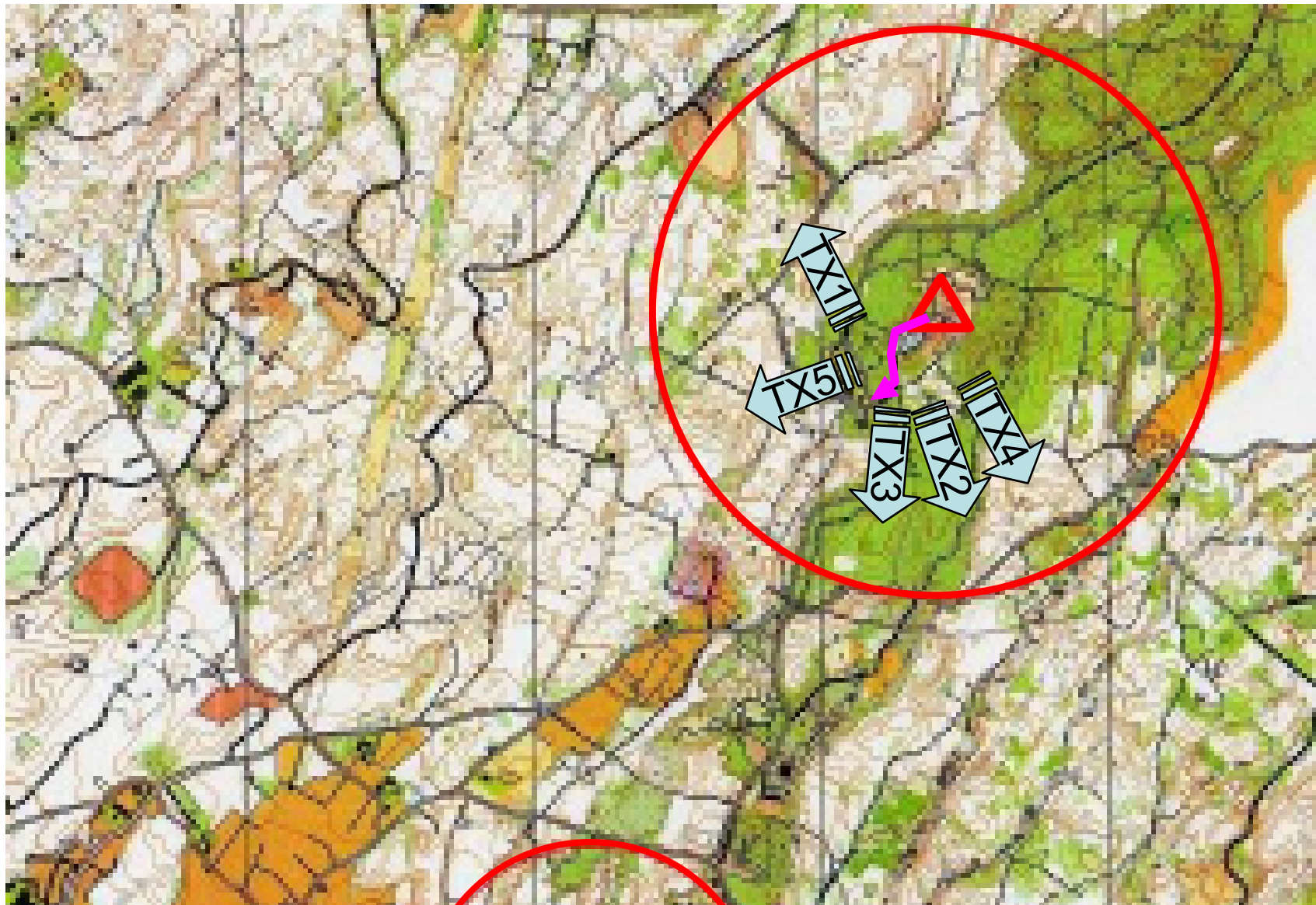


2009年静岡県支部ARDF競技大会
静岡県高等学校ARDF競技大会

期日：2009年9月23日(日)
会場：静岡県富士市
電話番号：054-364-4186

①スタート前の地図読み
トレインは大きくAエリアとBエリア。
北から南にかけて下り。従って青
線のコースを考える。

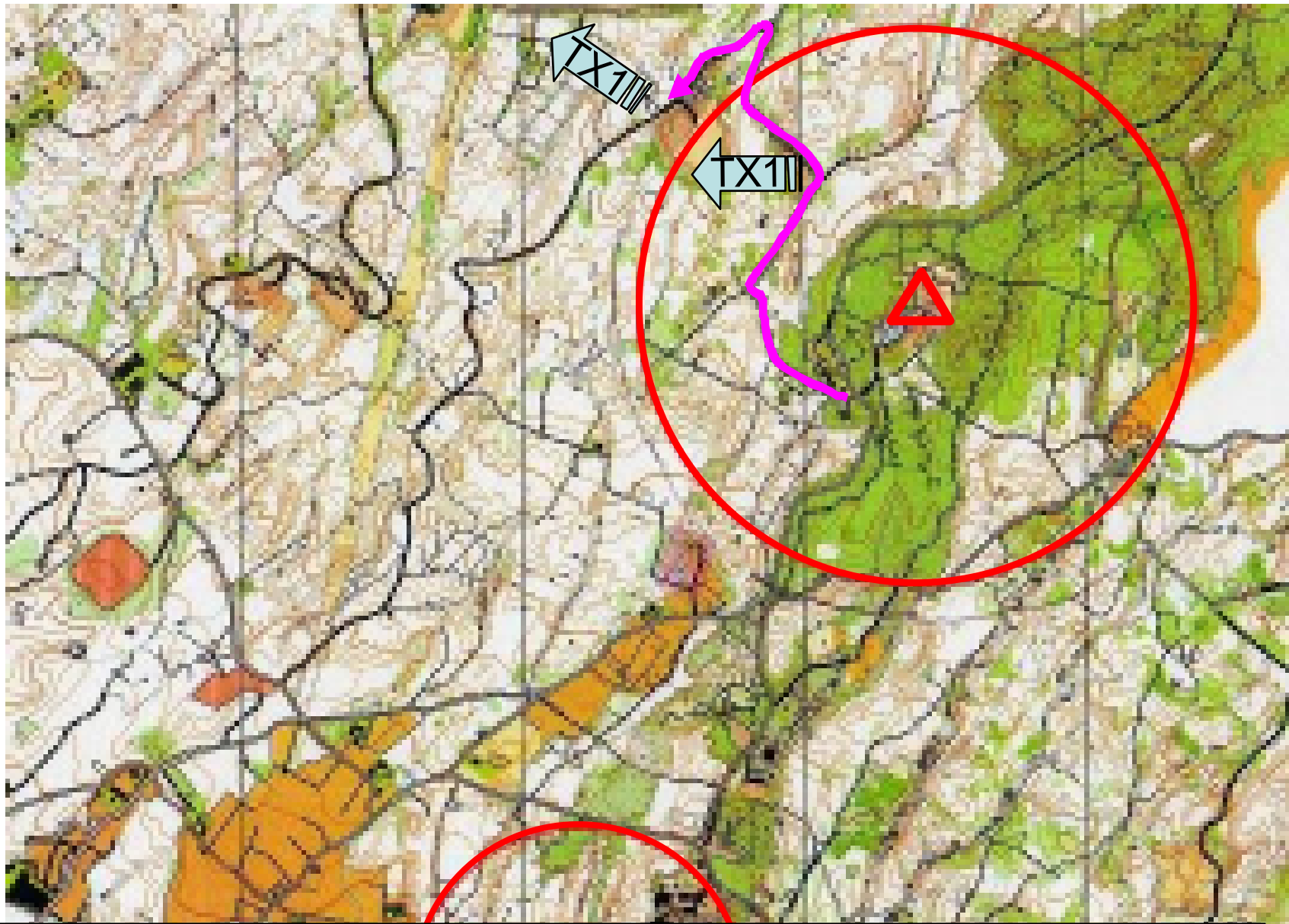




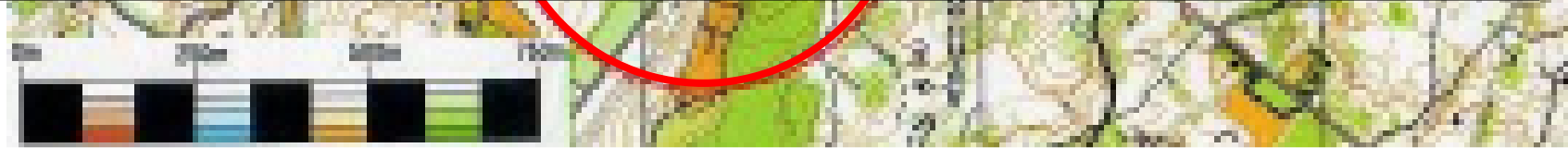
②探索開始地点

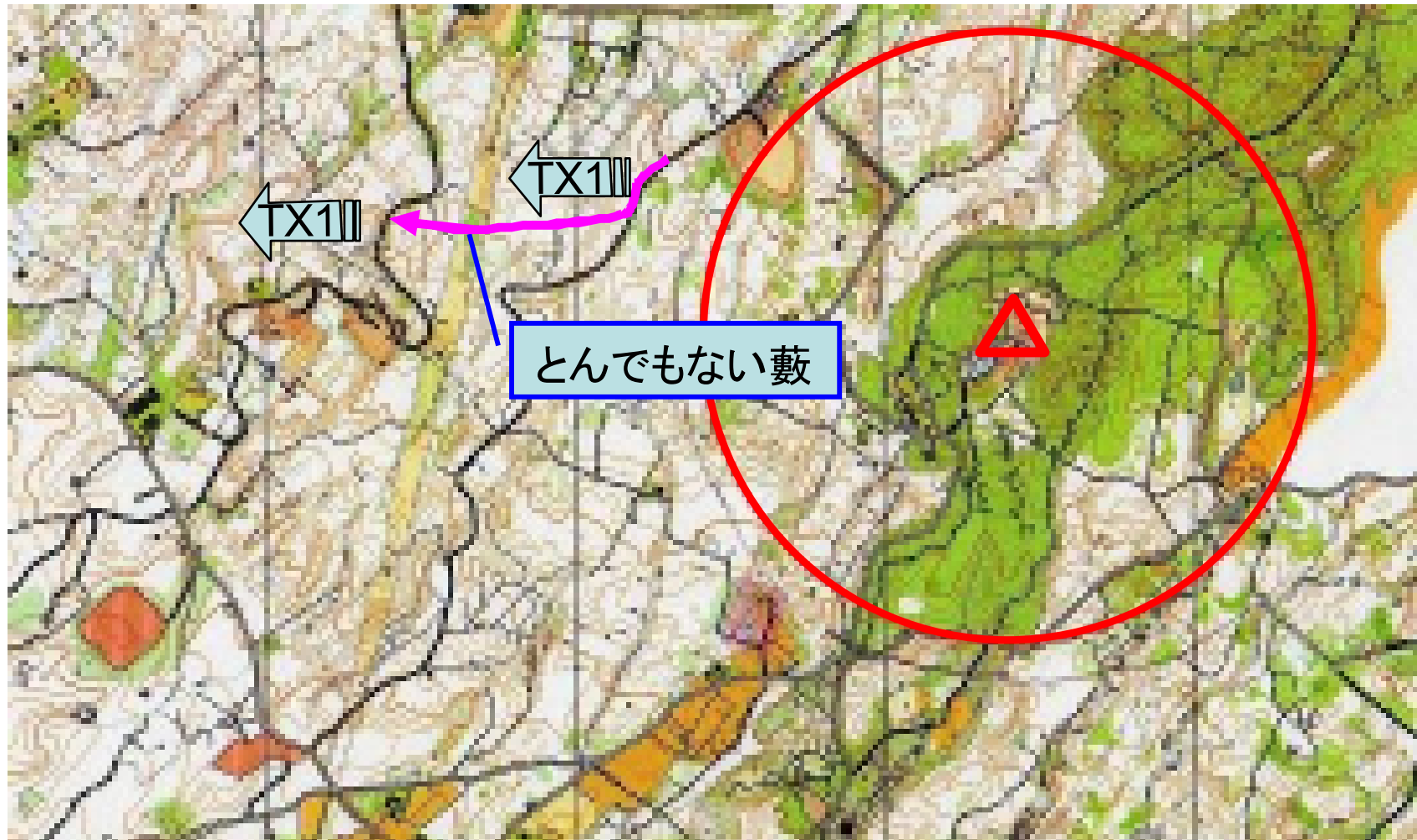
少し高い土手上に登り方探。TX4、2が比較的強いが、ゴール方向(南)。従ってTX1を目指す。





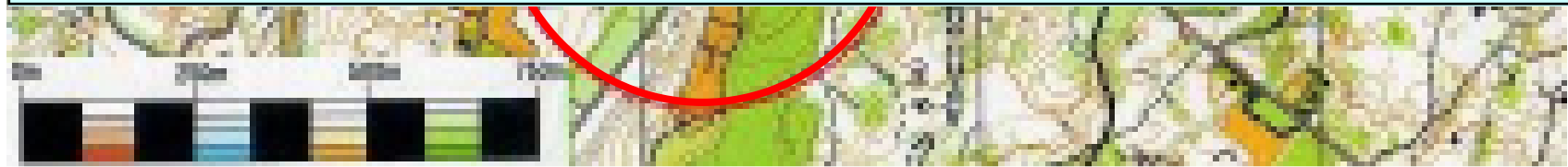
③どこで山に入るか
山に突入するにはまだ弱いと我慢しながら進む。この方向は迂回路もないし、
そろそろ突入か？

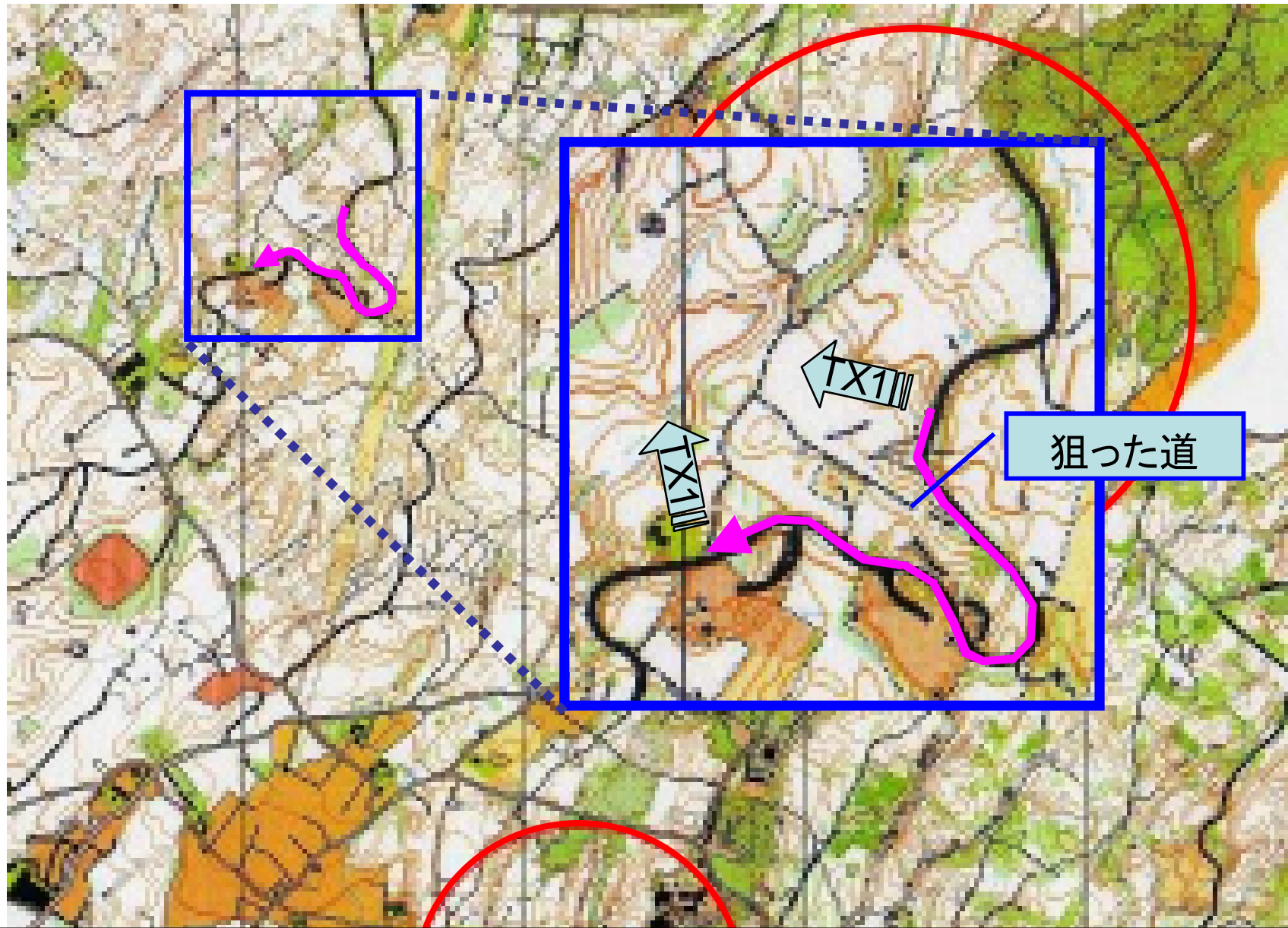




④山に入る

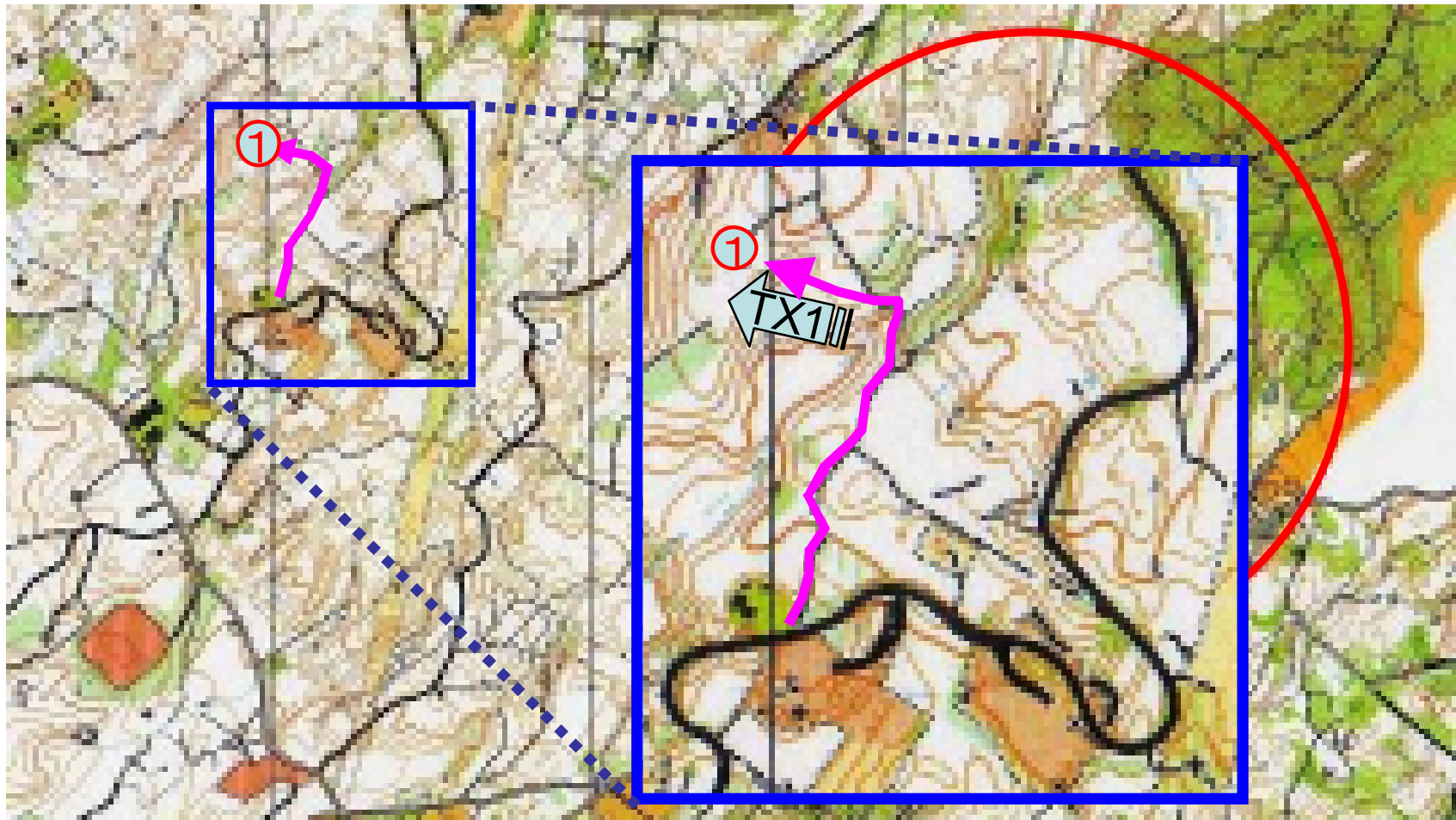
我慢できなくなり、山に突入する。強くなってきたが、高圧線の向こう側だ。すすき、笹の植生界に入り、地面が見えず、草でできた底なし沼のよう。ツル系も出てきて思うように進めない。毎秒0.1mの速さ。ススキの花粉で目潰し状態。とんでもない藪にきてしまった。大きなロスタイム。道にやっとたどり着いたが、さらに向こうだ。けど、もう藪はたくさん。





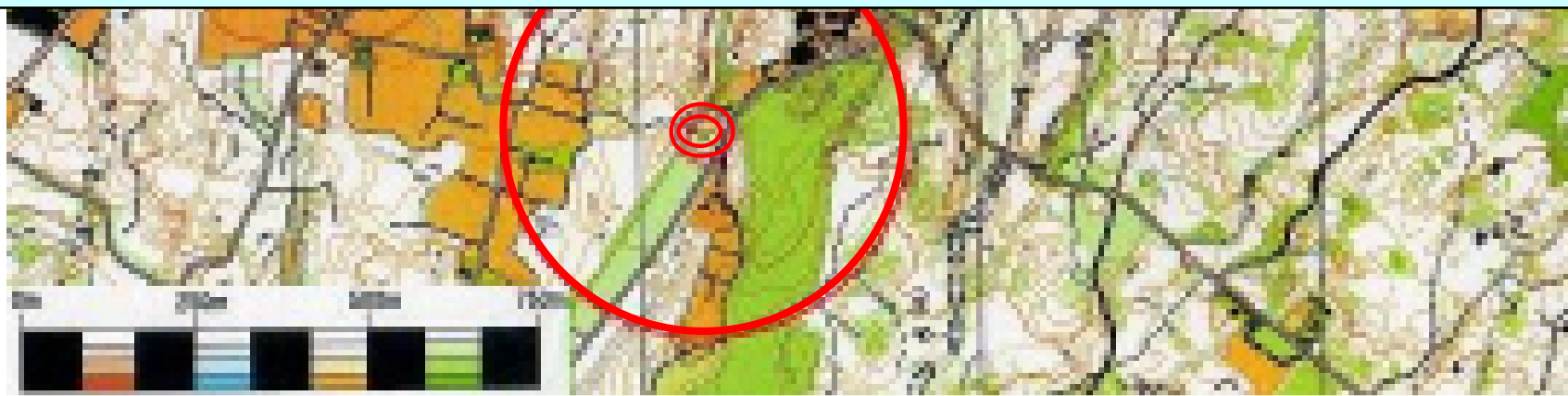
⑤山道の入り口

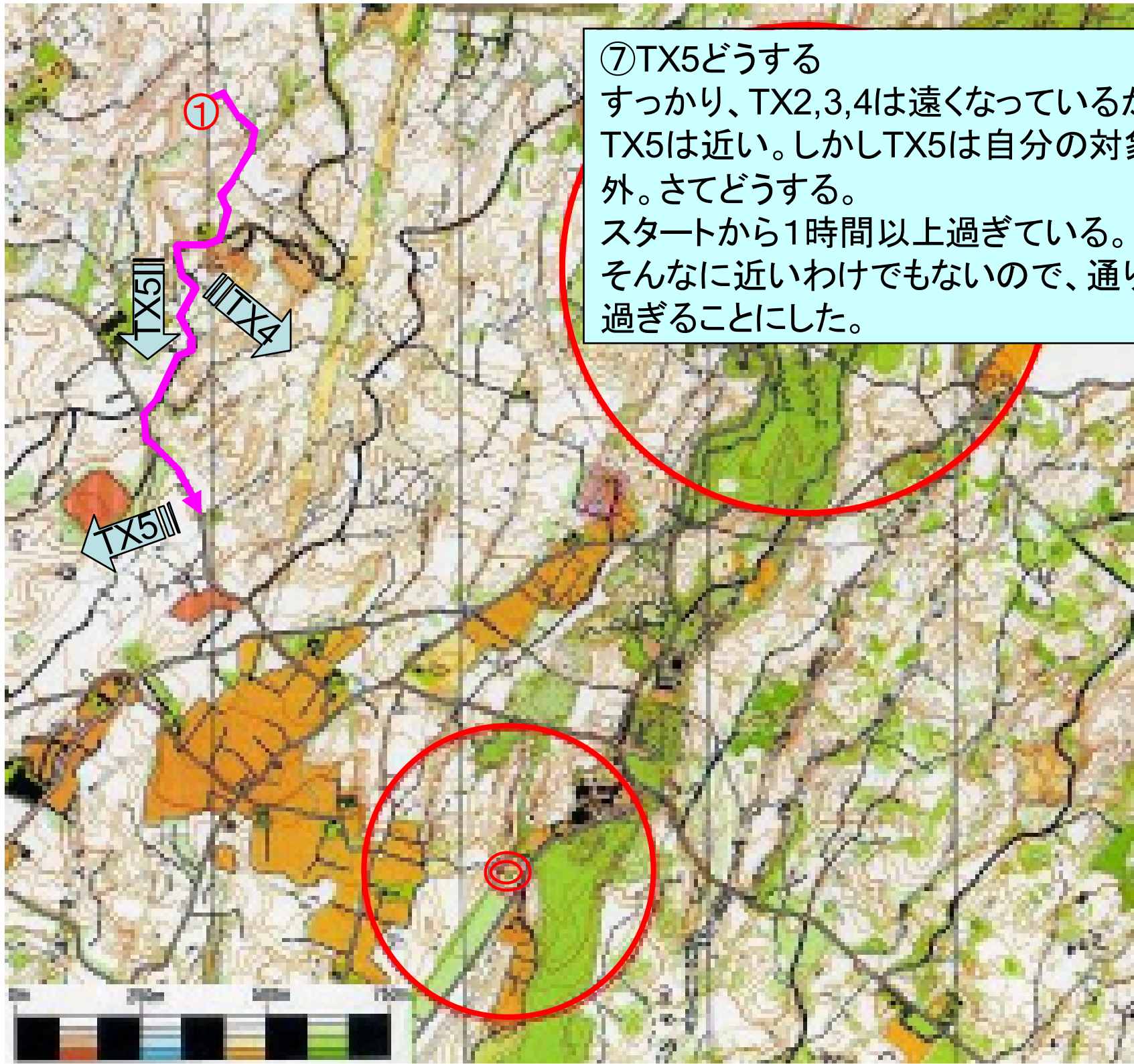
入っていく山道を決めた(狙った)が、消失している。そこで車道でぐるっと回る。
高圧線の下に渡りやすい場所があった。なんてこった。
次の山道入り口でちょうどTX1が鳴く。まさしくこの上だ。



⑥TX1

山道をのぼっていく。TX1の時刻が近づいたので左手の少し高い土手に上る。鳴いた。至近距離だ。そのまま進んでTX1ゲット。

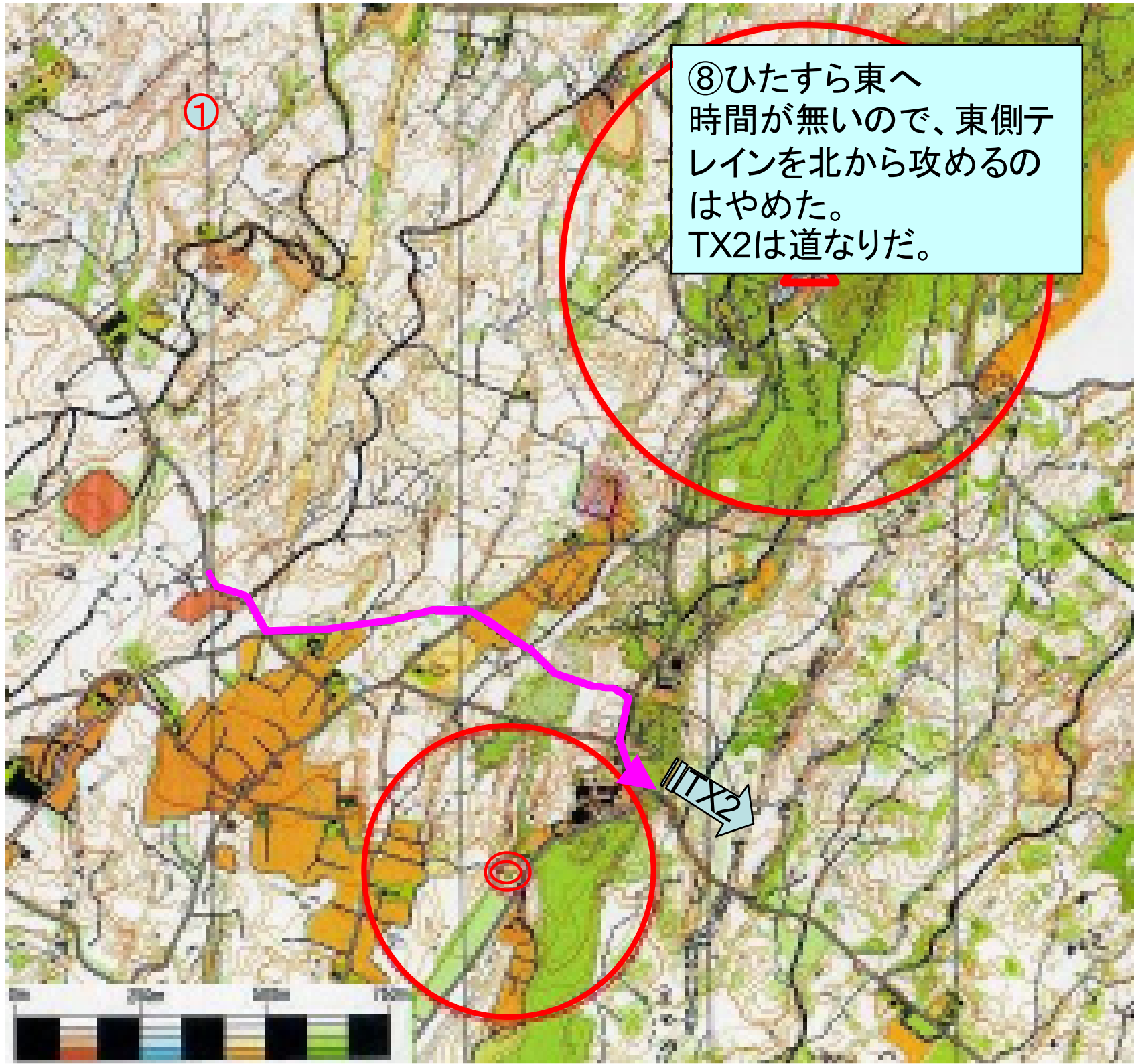




⑦TX5どうする

すっかり、TX2,3,4は遠くなっているがTX5は近い。しかしTX5は自分の対象外。さてどうする。

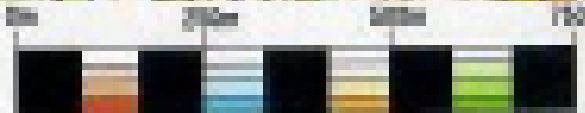
スタートから1時間以上過ぎてている。そんなに近いわけでもないので、通り過ぎることにした。



①

⑧ひたすら東へ
時間が無いので、東側テ
レインを北から攻めるの
はやめた。
TX2は道なりだ。

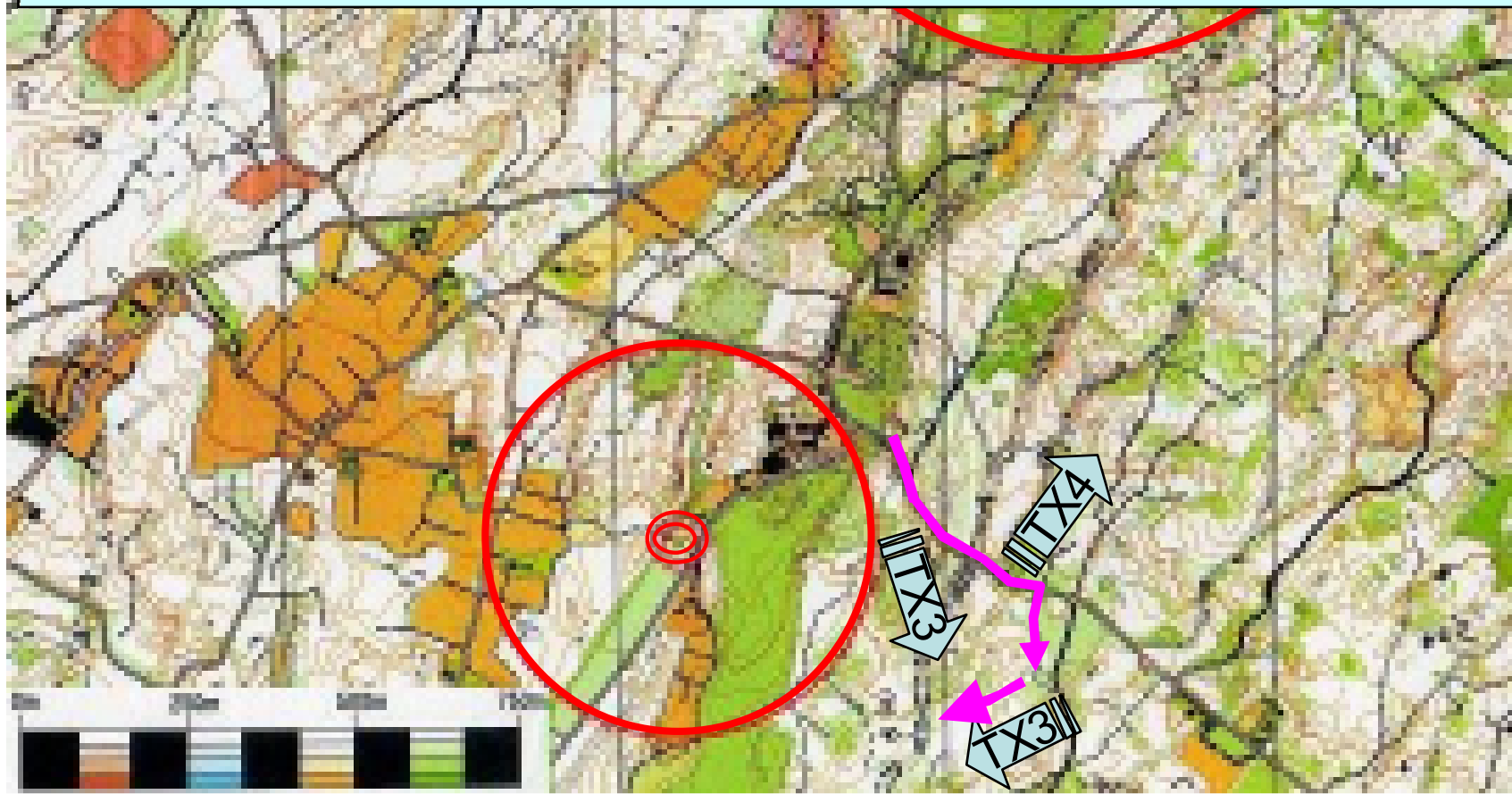
TX2





⑨回り込む

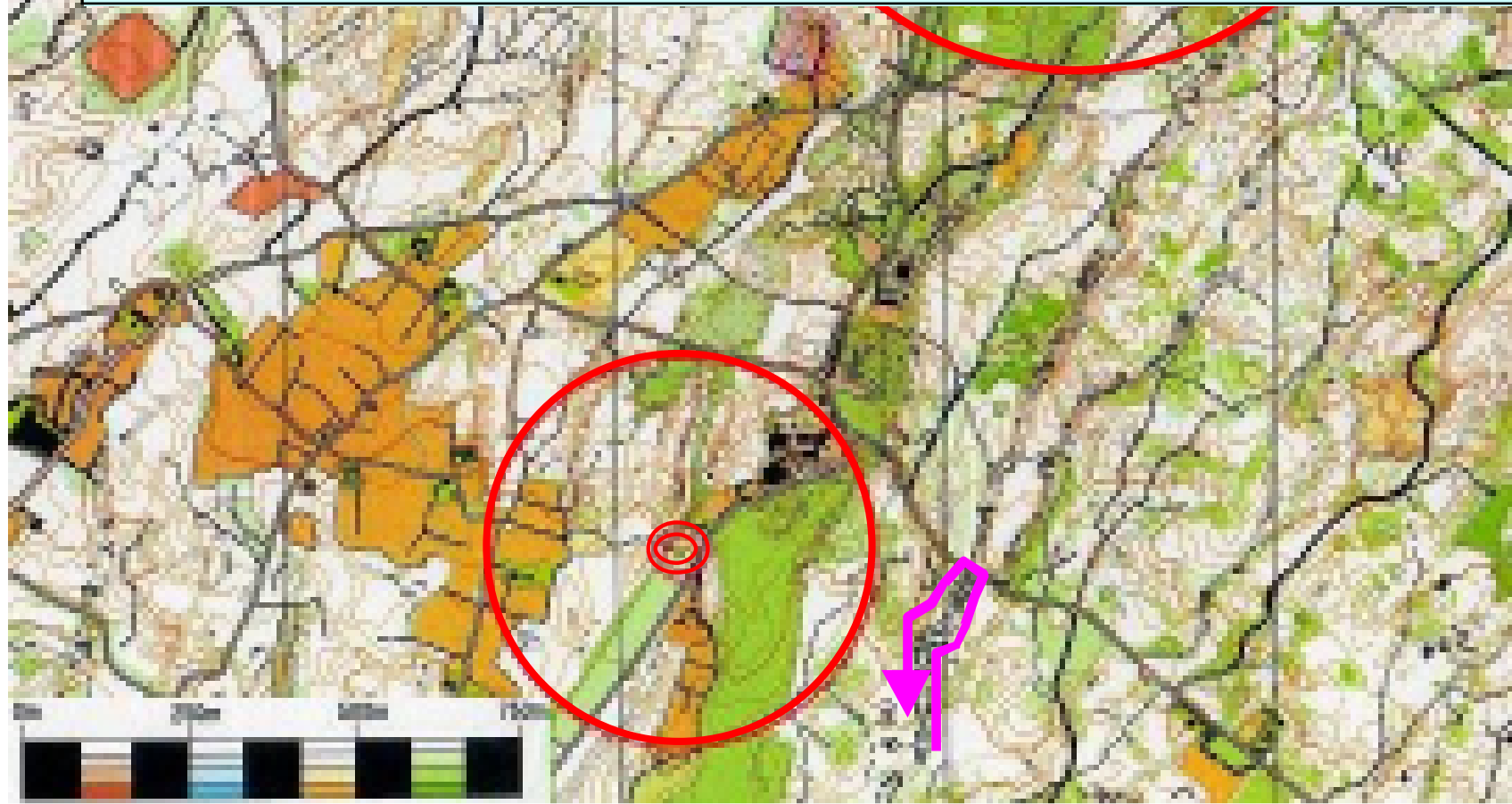
TX3がいい感じに入る。ここを入ったほうだが、藪は危険なので回りこむことにする。TX4は遠い。時間的には、TX3を取っておわりか。進んでいくと道が無くなった。仕方ない。TX3の方向へ入っていこう。しかし、恐るべき予感が。「谷の向こうだ」

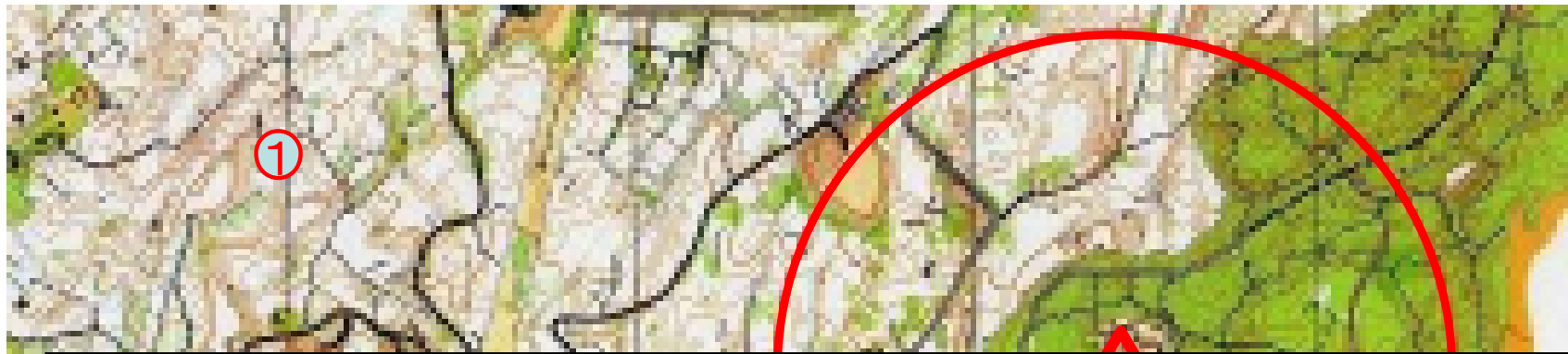




⑩とんでもない藪再来か？

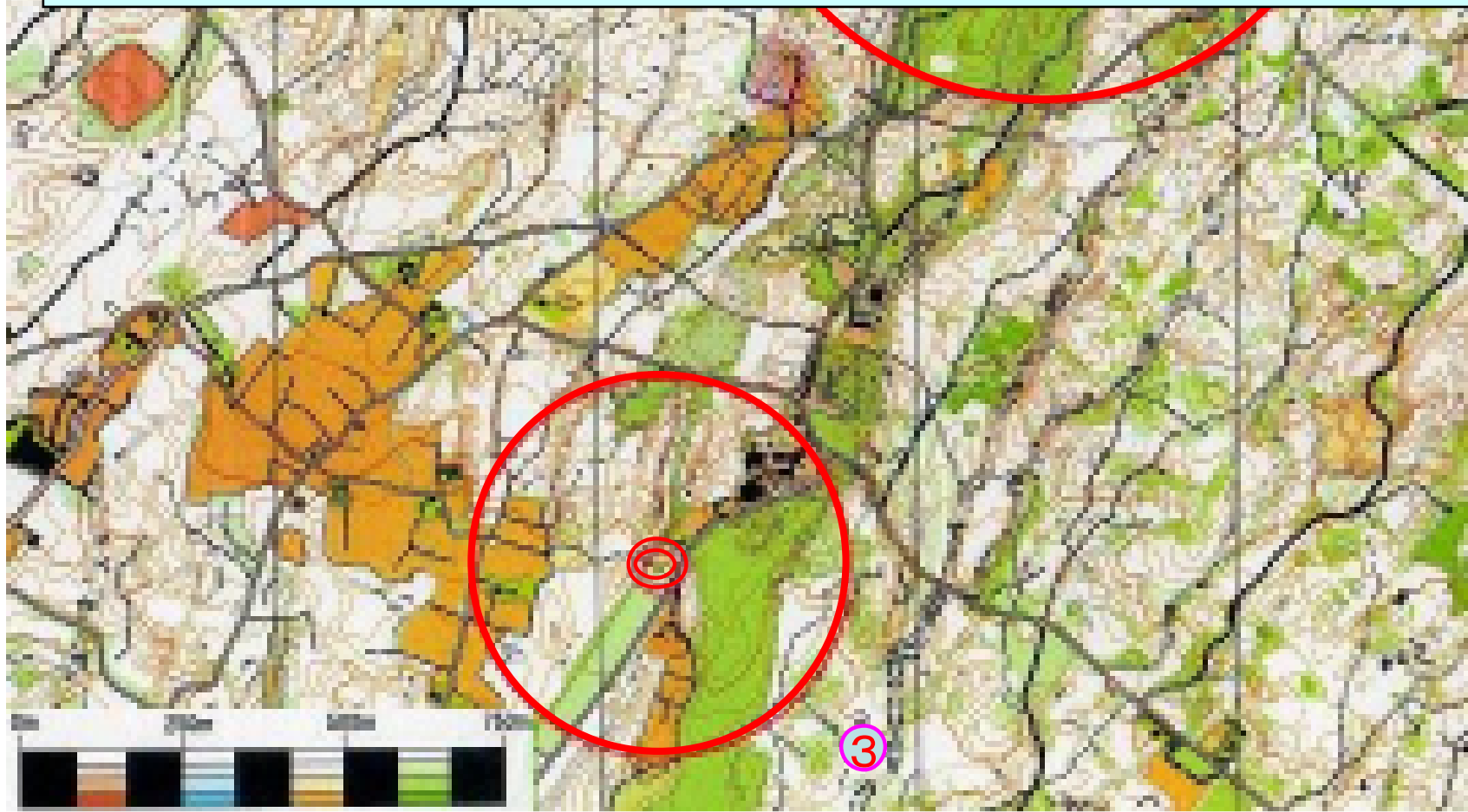
この谷は深く降りられそうに無い。降りられても無傷ではすまないだろう。一か八か、谷の東側を北上する。笹が増えてきて思うように進めなくなった。ヤバイ。とんでもない藪か？何とか脱出して迂回する。谷西側は道があるので、スムーズに南下できた。





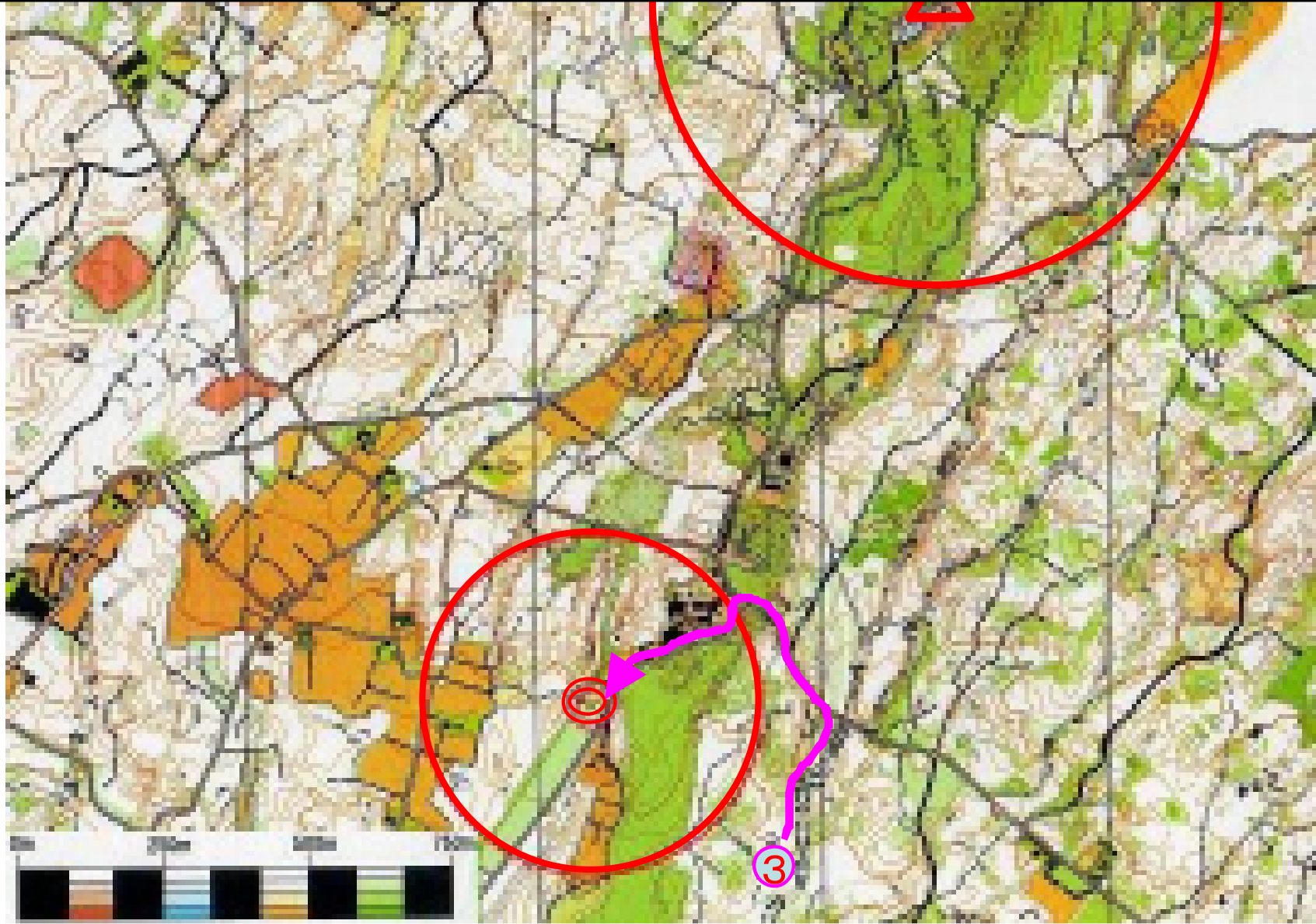
⑪TX3

TX3が鳴く。難なくTX監視員の背後からTX3ゲット。
となるとゴール方向の道が前方にありそうだ。しかし、距離的にもかわらず、
安全策で戻ることにした。

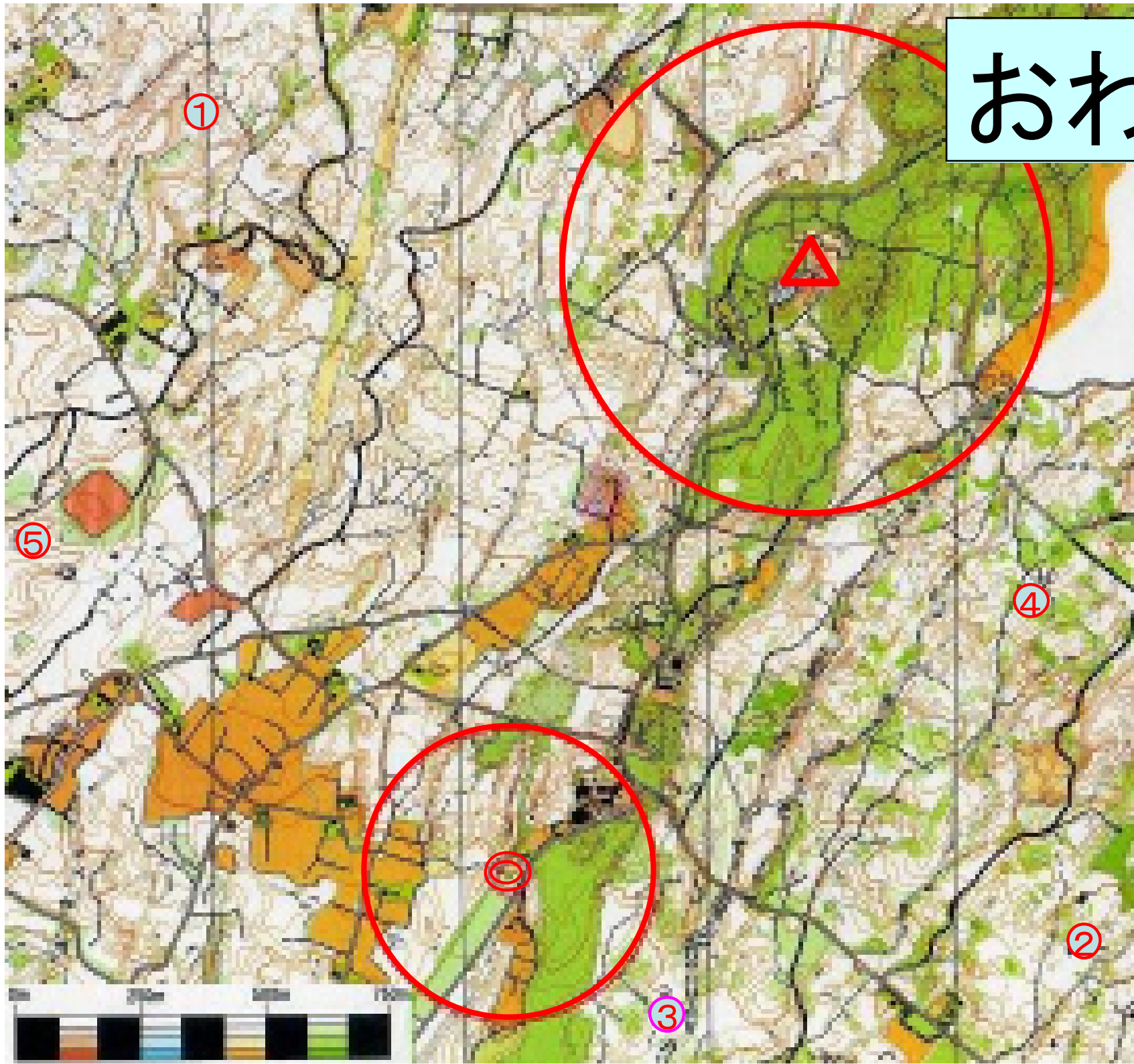




⑫ゴールへ
車道を一方通行に限定はできないので、車道をそのまま進みビーコンへ。



おわり



感想

今回は、何と云ってもTX1ゲットに時間が掛かりすぎた。如何に丸火といえども山中を進む場合、場所を選ばなければ。